

上位大会でV目指す

6月までに行われた国際テニス連盟（ITF）

の女子下部ツアーで、2大会連続で優勝した坂詰姫野（19）＝橋本総業ホールディングス・上教大付中出＝が7日までに、新潟日報社のインタビューに応じた。坂詰は「より（賞金総額が）上の大会で優勝することが次の目標。早くそのレベルのプレーに慣れたい」と力強く語った。

上越市出身の坂詰は小学1年から競技を始めた。2018年の全日本ジュニア選手権18歳以下のシングルスを制し、翌19年にプロ転向。プロ3年目の今季は5、6月にチュニシアで行われたW15（賞金総額1万5000ポンド）大会のシングルスで連続優勝。6月の大会ではダブルスも制した。

女子テニス・坂詰（上越出身）

下部ツアーで連続優勝



今後の目標を語るテニス女子の坂詰（橋本総業ホールディングス）＝新潟市中央区

昨年はウィルス禍で国際大会がなく、拠点の横浜市で持ち味のフットワークの強化などに力を注いだ。今季は年明けから負けが続いたが、10戦目だった5月の大会は「1回戦からやりたいプレーができた。試合ごとによくなり、すごく自信になった」と手応えを得た。

現在の世界ランキングは500位台で、年内に400位を切ることを目指す。今回の連続優勝を受け、次は上位のW25大会に戦いのステージを移す。吉田友佳コーチは「今回は初めて一人で外国を転戦した。一人で戦い抜き、プロとしての覚悟が見られた」とさらなる成長を期待する。

坂詰の大目標は「グラインドスラムで優勝すること」。8月から再び海外遠征に臨む予定で、「ヨーロッパやアメリカの選手のレベルが高くなっていった。自分も追い付き、追い越さないといけない」と決意を語った。